

『しゃべりば』経緯

月日	内容
2/21	<ul style="list-style-type: none"> ・条例のタタキ台を話し合う。 ・行政が実施していることが市民側の本当の意見か？ ・一緒にまちづくりをしていくしくみが必要 ・市民に頼むだけでなく行政側も一緒に作っていく姿勢必要 ・人権が基本になるのではないか？ ・参加する市民がいつも同じ顔ぶれ、もっと広がりがないか？ ・現状をもっと知り、5年先10年先も見据えた委員会必要では？ ・個人情報保護により隣人の情報が分かりづらい。 ・食事を通じて交流のしくみや社協、郵便局など連携した見守り ・高齢者による下校見守りなど社会参加もっと必要
2/28	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の権利、市民の役割と責務（おいらせ町との比較） ・パンフレットなど図等を使って分かりやすくする必要ある ・条例は分かりやすい文章にしよう ・目安箱など市民の意見を吸い上げるしくみをつくる
3/7	<ul style="list-style-type: none"> ・議会について ・市民に開かれた議会でなければならない ・議会そのものが自主的に変革することを期待するが市民の役割は ・連携について ・事業所の参加についてはまちづくりに必要 ・NPO等への業務委託等の推進と町内会、事業所などとの連携
3/16	<ul style="list-style-type: none"> ・前文にはセーフコミュニティ、市民憲章、防災など入れる ・市民とは、、用語の説明は必ず入れる ・町内会にただ投げるのではなく市民が違う形で関わる ・時代に合わなくなった団体などは検証し、活性化する必要ある ・議会との意見交換しましょう ・町内会との意見交換しましょう
4/4	<ul style="list-style-type: none"> ・議会との意見交換5月中旬調整 ・南三陸町事例をまちづくりの原点として学ぶ（支援する） ・市民が動ける体制づくり必要 ・ガソリンもインフラの一部ではないか？
4/20	<ul style="list-style-type: none"> ・小川さん紹介 ・住民投票の項目について ・しゃべりばの内容 ・骨格についての意見交換 ・組織として運用すべき ・実践活動を項目に入れるべき ・出前講座をしてほしい（市役所にある、県にもあるが知らない） ・市長との意見交換必要

	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員の数が少ないのではないか ・しゃべりばの役割・位置づけを考えてみよう
6/8	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開 ・職員間で必要なのではないか ・政策検討の段階と政策決定の段階で必要なのでは ・民生委員が困っている現状を知ろう ・私たちの目指す姿 ・グローバル、生活基盤、市民アンケート、セーフコミュニティ、 ・分かりやすく社会的弱者に優しいまちづくり
6/15	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会、策定委員会、しゃべりばの役割明確にすべき ・子どもの権利は章立てする必要性に疑問 ・子どもの範囲は18歳未満？ ・住民投票は章として必要であり発議とルールとしての道を作る必要がある。 ・やり方は別途定める ・評価見直しの組織は必ず必要
6/29	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子育てできるまちづくり ・子ども会の参加低い、親の理解がない ・統合によりスクールバスの現状遊ぶ時間ない ・産科がないため妊婦が引きこもる ・虐待があるみたいだが、反動が怖く通告できない ・現在ある産婦人科に育児支援センターを併設したらどうか
7/6	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の居場所確保 ・子どもたちの意見を聞こう ・子どもの定義：義務教育までとする、*高校生は市民のくくり ・まつりによる地域づくりは条例との関係は
7/27	<ul style="list-style-type: none"> ・地域外との連携（三戸は県人会、湖町は鶴ヶ島等リピーター大事） ・しゃべり場に大学生の参加を（北里大学執行部） ・実際に出向こう ・国際化の時代に対応できる条例にしよう
8/17	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所（高校生、大学生、、、） ・青年会議所で意見を聞こう ・市民活動のスペースは検討中の市民プラザで検討している。 ・現代美術館の市民の使い方 ・駒っこランドの市民の活用の仕方など規制だけでなく柔軟にしよう。決してお金をかけてやる方法だけではないことを示そう。
8/24	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の意見交換予定は 青年会議所、高校、中学校、北里大学、道の駅 ・内容は「今幸せですか？」「十和田市はどうですか？」
8/31	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換はしゃべりば有志で ・フォーラム 11月下旬予定

	<p>・検討委員会 9月14日予定</p>
9/7	<p><十和田西高校生との意見交換>観光科 6名</p> <p>Q、休日はどこにいきますか</p> <p>A、友人の家、店にはいかない、街中はない、下田</p> <p>Q、映画館はいきませんか？</p> <p>A、十和田にないので小さくてもあると良い</p> <p>Q、屋外で遊ぶことは？</p> <p>A、競技場があいていない、緑地公園だと危ない、情報がない</p> <p>昔は空き地で遊んだ今遊んでいる子ども見かけない</p> <p>・フリーな公園（遊具なし、特定の目的なし、芝だけ、安全性でネットで外側）の公園提案しよう！</p>
9/14	<p>・9月27日検討委員会予定</p> <p>・目指す姿は子どもの部分を前面にだそう</p> <p>・ヒアリング内容を現状目線に入れ込もう</p> <p>・秋まつり感想＝活力があった</p> <p>・郷土芸能は残していこう</p> <p>・秋祭り前夜祭や情報発信、山車の製作過程の展示などできないか</p> <p>・切田ソウユウ会のように街中以外からの積極的な参加促せないか</p> <p>・企業グループの参加（例：ねぶた）必要ではないか、また企業としてのまちづくりへの参加につながるのでは</p>
9/16	<p><第一中生徒との意見交換></p> <p>Q 十和田市は好きですか？</p> <p>A 好き4、あまり好きでない6</p> <p>理由・静か、自然多い、住みやすい、空気きれい</p> <p>・建物少ない、交通不便、店少ない</p> <p>Q 交通手段は</p> <p>A 親からの送迎</p> <p>・バスは使ったことない、</p> <p>・バス停わからない</p> <p>Q 遊ぶところは</p> <p>A 公園、ロマンパーク、川</p> <p>Q 買い物は</p> <p>A コンビニ、商店、下田、</p> <p>・給食おいしくなくなった。</p> <p>・町民運動会なくなった</p> <p>・まつりに参加したい</p> <p>・歩道整備してほしい</p> <p>Q 残りたいですか</p> <p>A 仕事があればのこりたい</p> <p><三本木中学校執行部></p>

	<p>Q 好きですか</p> <p>好き 2 キライ 1 どちらでもない 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害がない ・楽しめるところない (店) ・観光地活用していない ・祭りに参加していない、活気ない ・町が明るくない <p>Q どこで遊びますか</p> <p>A 十和田ジャスコ、100円バス使わない、部活忙しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十和田といえば～というものをつくらないとだめだ ・現代美術館は使わない行かない ・中心街にいかない、知らない ・職場がないのが一番
9/21	<ul style="list-style-type: none"> ・十鉄の件今市民が試されているのかもしれない ・情報の公開 <p>地域審議会十和田市はあるの？ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員と市民の話し合いの場しくみつくる必要あるのでは？ ・市民も議員を行政を見ているという姿勢や場が必要
9/28	<ul style="list-style-type: none"> ・現状 検討委員会 6月28日以来なし 小委員会 6月16日以来なし しゃべり場毎週開催 それぞれの役割は何？ ・12月3日フォーラム予定 ・団体との意見交換継続 (青年会議所、大学、道の駅) ・街中と周辺部では地域に対する愛着度合いが違うようだ ・ふれあう機会の少なさかもしれない、だから体験増やそう！ ・地理的弱者への救済を条例に入れ込めないか
10/5	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュール早期に再出発と連絡徹底 ・フォーラムについては基調講演とパネルディスカッションで良いのかどうか？ ・寸劇は可能かどうか、八戸市や南三陸の震災に学ぶのはどうか？ ・目的は市民が主役であることを知らせること？ ・旧十和田湖町住民の自立、危機感の共有 ・街中と周辺部では認識ちがう。体験の差なのか？ ・目指す姿に地理的弱者への救済の項目入れ込みたい。
10/12	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム案について
10/19	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の活動もふくめ時系列で進捗管理が目でわかるようにすべき ・広報で市民に知らせるべき ・しゃべり場に出てこれない人への説明必要 ・策定委員会の表現はWGでよいのか？ ・回数月1回ペースでできるのかどうか？

	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃべり場の2～3人の意見だけが先行するのはいかなものか ・第2章の町内会の衰退の現実と表現が違う ・老人会の加入率はそれほど高くない(公民館毎や町内会毎) ・検討委員会チャートではなくしゃべり場チャートではないか
10/26	<ul style="list-style-type: none"> ・日光市の自治基本条例その後は行政主導で市民に関心がない状況説明(日光市職員からの情報) ・出席していない人への働きかけができなくて市民に自治基本条例に関心をもってもらえない！まずは委員の自覚と委員へのはたらきかけ(小さなコミュニティと仮定) = <u>これが市民の責務</u> ・フォーラムについては2月ごろが良いのではないか <ol style="list-style-type: none"> 1)基調講演はやはり八戸市の震災体験を語ってもらうべき 2)札幌市の吹き出しの例から自作自演で寸劇をやる！ 3)これまでの検討委員会の流れの説明 4)質疑応答コーナー <ul style="list-style-type: none"> ※指定席はつくらない ※対象は意見交換した団体や町内会、議員、行政職員等 ※パネルディスカッションは本当に必要か疑問 ※アンケートは必要 ※おいらせ町 VTR はなし、2月15日以降であれば参加 OK
11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の項目で「独居老人が増えている」の項目を増やしてみればよいのではないか。 ・万が一の場合のサポート必要 市役所から町内会へ個人へのサポート必要。老人の意思確認。 サポート必要意思表示→町内会→行政 必要なし表示→個人で対処 民生員と町内会で連絡とれている。 ※意思表示した方は情報開示できる ・おいらせ町福原さん 「小芝居」の脚本持参いただき内容説明いただく 約20分間であり、フォーラム最初にやった。 ・札幌市吹き出し脚本と合わせるとさらに良いのではないか。 ・基調講演の辻山先生の話はとても分かりやすかった。内容次第で市民に伝わるのではないか？パネルディスカッションは初回としては市民には分かりづらいのでは？2回3回とある程度理解が進んだ段階で必要かもしれません。 ・情報について基礎情報(?)と個人情報保護すべき内容と明確に分類すべきであったと悔やまれる。今後の課題であり是非十和田でも検討いただきたい。 ・「自治基本条例は行政との関係で今現在困っている自治体が考えることであり困っていない自治体には必要ない」「困ったときの盾となるのが自治基本条例でありそれを今作っておく必要があることをどう理解するか、またどう理解させるかだ」